



Q 静岡県ひきこもり支援センターの居場所とは？

ひきこもりに悩むご本人が、家以外で安心して過ごすことのできる場です。家の外に意識が向いてきた方に、次のステップに進む前のワンクッションとしてご利用いただいています。平成 28 年度より開設し、現在は県内5箇所となりました。

Q 利用するにはどうすればよい？

当センター（各健康福祉センター・精神保健福祉センター）での来所相談で、現在の状況に応じた適切な支援と一緒に検討し、居場所利用申込をしていただきます。居場所支援と継続的な個別相談の両輪で、利用者をサポートします。ご本人の状況に応じて居場所以外の支援方法を提案させていただくこともありますが、「ご本人にとって適切な支援は何か」を一緒に考えていきたいと思っています。（3ページ～利用までの流れ～ご参照）

Q ひきこもり支援における居場所支援とは？

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン（厚生労働省）」によると「中間的・過渡的な集団との再会段階」「社会参加の試行段階」と位置付けられています。電話相談や来所相談などの個別支援から集団支援へと移行していくため、本人の社会参加に向けての準備段階として居場所を提供することが望まれるとされています。

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ひきこもり面接相談及び県内各所の居場所支援の活動が中止や変更となっている地区があります。詳細については当センター又は各居場所にご確認、お問合せください。一日も早い収束を願うとともに、今後も関係者の皆様と一体となって、今後もひきこもり支援を行っていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



静岡県ひきこもり支援センター



〒422-8031 静岡県静岡市駿河区有明町2-20
静岡総合庁舎 別館4階
静岡県精神保健福祉センター内



相談専用電話 054-286-9219

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-845/seishin/hikikomori.html>



所長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の影響で日本中がとても大変な状態になっています（この原稿はゴールデンウィーク明けに書きました。）これまでの生活の中で極々当たり前に行っていた買い物等を含め対外的な活動に自粛を求められ、皆様自身、いろいろとご不便を感じているところとは思いますが、くれぐれも体調管理にはお気を付けください。また感染予防のためとはいえ、センターのひきこもり支援におきましては直接、対面での相談をご遠慮いただいているなどその活動に若干の制限が加えられ、皆様いろいろとご不便をおかけしていることと思います。この場をお借りして、お許しを願いたいと思います。

ひきこもり支援センターだより第8号をお届けします。当センターの元スーパーバイザーで現在、琉球大学准教授・草野智洋先生が以前、「心理学で見つける“人生の意味”～ ロゴセラピー ～」という連載のコラム*を書いてくださいました。そのコラムから私は、ひきこもり支援において「ひきこもる人たちに対し、“人生の意味”を見出すことができるようにしてあげることが大切である」と理解しました。そしてその方法として、「居場所の提供」が重要な役を果たすと考えています。今回は、静岡県が支援の一環として行っている「居場所」について特集をいたしました。静岡県の居場所がひきこもり当事者の方たちにとって、心地よい居場所となることを期待いたします。

*ひきこもり支援センターだよりのバックナンバーは当センターHP内に掲載しております。

県内5か所の居場所の御紹介です。

賀茂「めばえ」<NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡>

「めばえ」では、利用者さんが自然体で過ごせるような環境作り、雰囲気作りを大切にしております。「何かをしなければならない。」というものは何もあります。利用者さんが主役。スタッフも自然体です。(笑)広々した20畳の和室で自由にお過ごしいただけます。幕末の歴史情緒が漂う下田に是非一度お越しください。



東部「とっこ」<NPO 法人臨床心理オフィス Be サポート>

狩野川に面した眺めの良いお部屋で、「ゆったり のんびり」を合言葉に活動しています。好きなペース、好きな過ごし方でOK。時には、ゲームやクッキング、散策、史跡巡りなどの野外活動も企画しています。週1回ですが、ほっと一息安心できる場所、ひとときを提供できたらいいなと思っています。



↑ゲームで対戦

スタッフと折り紙やペーパークラフト→



東部「いっぷく」<社会福祉法人共生会>

「いっぷく」は人との関わりが苦手な方、ひきこもりがちの方、少しずつ社会と関わっていきたい方のためのスペースです。基本的には自由で、喫茶・フリースペースでのんびり過ごしたり、スタッフとお話をしたり、作業体験を行うことができます。軽い気持ちで一度見に来ませんか？お待ちしております。



中部「みなと」<NPO 法人サンフォレスト>

「みなと」では、利用者が「安心して、ありのままにいられる場所」を目指した居場所活動を行っています。読書やゲームなど各々が好きな形で過ごすフリータイムを中心に、調理や工作、外出などの季節や行事を意識したプログラムも企画しています。



調理→
(回鍋肉)

←ハロウィン製作



西部「ひとわれ」<社会福祉法人デンマーク牧場福祉会>

デンマーク牧場の山々や羊たちが見渡せる自然豊かな環境の中で活動しています。カードゲーム、園芸、囲碁、木工製作、調理活動などの他に、月1回、バスで外出をする日もあります。ご本人の気持ちに寄り添い、安心して過ごせる居場所を目指しています。見学、お待ちしております。↓活動中の様子↓



～ 居場所利用までの流れ ～

静岡県ひきこもり支援センターの居場所は、静岡県の委託により、県内各地で活躍している団体が運営しています。関係機関の方の見学にも対応しています。事前にお問い合わせください。



電話
問合せ

まずはお電話を。(054-286-9219) 現在の様子等のお話をうかがい、来所相談の調整をします。

来所
相談

要予約。適切な支援について、御本人や御家族と一緒に考えます。

居場所
見学

相談員が同行し、居場所の見学をします。利用についての説明やマナーについて話を聞きます。

利用
申込み

見学後は、居場所をどのように使っていくか等、御本人と相談員で話をします。